

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月22日

計画の名称	枝幸港における安全で利便性の高い港湾環境の形成											
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	枝幸町											
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化により利用制限中の物揚場を改修し、漁業活動における安全確保及び施設の長寿命化を図る。</li> <li>・船揚場施設の未舗装部分を整備し、小型船外機漁船における上下架作業の漁業者負担の軽減を図る。</li> <li>・隣接する天然海岸からの飛砂対策として整備されている防砂策を延長し、通行車両及び歩行者の安全を確保するとともに、飛砂の影響を受ける道路側溝の清掃費の縮減を図る。</li> <li>・小型船外機漁船用の船揚場斜路部に滑り材を整備し、上下架作業の効率化と漁業者負担の軽減を図る。</li> </ul>											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	123	A	123	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	・利用制限中の本港地区物揚場を改修整備する。 本港地区物揚場の改修必要延長に対する整備済み延長により算出 (整備率の割合) = (整備済み延長) / (対象延長)	0%	50%	100%
2	・船揚場施設(船潤)における未舗装部分をコンクリート舗装する。 本港地区船揚場の未舗装部分に対する舗装済み面積により算出 (整備率の割合) = (整備済み面積) / (未舗装面積)	0%	50%	100%
3	・飛砂対策の為の防砂柵を整備する。 防砂柵未整備延長に対する整備済み延長により算出 (整備率の割合) = (整備済み延長) / (未整備延長)	0%	50%	100%
4	・船揚場(斜路部)に上下架作業効率化の為の滑り材を整備する。 滑り材未整備面積に対する整備済み面積により算出 (整備率の割合) = (整備済み面積) / (未整備面積)	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	北海道	枝幸町	直接	枝幸町	地方	-	枝幸港改修事業(物揚場(-4.0m)(改良))	調査設計一式、撤去工、本体工、上部工、裏込工、舗装工、付属工 L=70m	枝幸町/枝幸港 ・本港地区						78	-	-
	A02-002	港湾	北海道	枝幸町	直接	枝幸町	地方	-	枝幸港改修事業(船揚場(改良))	舗装工(コンクリート、(取付部アスファルト)) A=475㎡	枝幸町/枝幸港 ・本港地区						16	-	-
	A02-003	港湾	北海道	枝幸町	直接	枝幸町	地方	-	枝幸港改修事業(護岸(改良))	付属工(防砂柵) L=50m	枝幸町/枝幸港 ・本港地区						6	-	-
	A02-004	港湾	北海道	枝幸町	直接	枝幸町	地方	-	枝幸港改修事業(船揚場(改良))	付属工(滑り材)A=1,050㎡	枝幸町/枝幸港 ・本港地区						23	-	-
											小計						123		
											合計						123		

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 枝幸港における安全で利便性の高い港湾環境の形成

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 1) まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	枝幸港における安全で利便性の高い港湾環境の形成		
計画の期間	令和2年度 ~ 令和6年度 (5年間)	交付対象	枝幸町

